

発生・再生科学総合研究センター

RIKEN CENTER FOR DEVELOPMENTAL BIOLOGY

生物の発生・再生領域の研究開発は、近年の幹細胞研究等の急速な進展に伴い、世界的な潮流として、目覚ましい勢いで展開しつつある。これらは、幹細胞を用いた拒絶反応のない細胞移植技術の開発等に代表されるように、移植・再生医療の発展に対し、巨大な潜在的可能性を有するものと考えられている。

理研では、生物の発生等の機構解明に基づく、自己修復能力を利用した再生医療実現に貢献するため、2000年4月に発生・再生科学総合研究センターを発足させた。当研究センターは、発生生物学の新たな展開を目指した基礎研究を推進するとともに、細胞治療・組織再生など医学的応用を促進する基礎的・モデル的研究を推進し、得られる成果を広く応用分野に向けて発信して行く。

